

ISOメルマガ原稿(130702)

ISO9001・ISO14001の改正状況(7) CD1(3)適用範囲

ISO14001・CD1に書かれている適用範囲の概要を紹介してみましょう(当センターによる速報版であり、公式なものではありません)。

(1)ISO14001の狙い

- ・組織が、環境マネジメントシステムを確立し、実施し、維持するための要求事項を規定する。
- ・組織が、その環境方針コミットメントに従って、トップマネジメントによって提起される環境パフォーマンス改善を達成することができる枠組みを提供する。

(2)ISO14001の意図する成果

- ・環境マネジメントシステム要求事項が適用されるとき、組織は以下の意図された結果を成し遂げることができる：
 - a)関連した利害関係者の要求と期待を含む、組織の外部及び内部の状況を理解する、
 - b)環境方針及び環境目的を確立する、
 - c)有害な影響を低減し、次と関連する機会を利用する、
 - －組織の著しい環境側面
 - －組織の目的を達成する能力に影響を及ぼす外的環境条件
 - d)適用できる法的要求と自主的義務の順守を管理し、その順守状況を知ることによってそのコミットメントを示すことができる、
 - e)関連した利害関係者と理解し合う、
 - f)組織の環境パフォーマンスを高めるために、その環境マネジメントシステムを継続的に改善する、及び、それが成し遂げる環境パフォーマンス結果を示すことができる。

(3)バリューチェーンの管理、環境パフォーマンス基準

- ・環境マネジメントシステムは、組織が、そのバリューチェーンを通じて管理することができるか、又は影響を及ぼすことができると決定する環境側面に適用される。
- ・この国際規格自体は、特定の環境パフォーマンス基準には言及しない。

(4)ISO14001の活用

- ・組織は、以下によりこの国際規格との適合を示すことができる；
 - 1)自己決定し、自己宣言をする、
 - 2)適合について、組織に対して利害関係をもつ人又はグループ、例えば顧客などによる確認を求める、
 - 3)自己宣言について組織外部の人又はグループによる確認を求める、
 - 4)外部機関による環境マネジメントシステムの認証／登録を求める。

(5)事業プロセスとの統合

- ・この国際標準の要求事項は、組織のマネジメントシステムをその事業プロセスに統合することを目的とす

る。

- ・適用の範囲は、組織が活動する状況、環境方針のコミットメント及び活動、製品及びサービスの性質等の要因に依存する。

以上